

2019年度

大分市美術館ボランティア

応募～登録～活動までの流れ

- ◆募集広報
市報・HP等
- ◆応募期間
9月2日～
10月31日

12月～1月
美術館ボランティアとして
必要な知識等を習得する入門
講座（全6回）を受講

12/4 12/10 12/17
1/17 1/22 1/29
13:30～15:30

2月
希望の
グループを
見学

3月
登録

4月

ボランティア総会に
出席し、
活動がスタート

ボランティア募集について

対象：下記の入門講座（全6回）を受講
可能な方

<入門講座日程>

- 12/4 開講式
(水) オリエンテーション
大分市美術館の活動について
- 12/10 展覧会の企画について
(火) 活動体験（普及・運営グループ）
- 12/17
(火) 活動体験（トークグループ）
- 1/17 教育・普及活動について
(金) 活動体験（ワークグループ）
- 1/22 美術品の収集・保存について
(水) 活動体験（資料グループ）
- 1/29 閉講式
(水) 登録手続き等説明

募集人数：40人程度

応募方法：往復はがきに住所、氏名（ふりがな）、電話番号を記入のうえ、9月2日（月）～10月31日（木）〈消印有効〉までに大分市美術館「ボランティア募集」係宛、ご応募ください。

問い合わせ

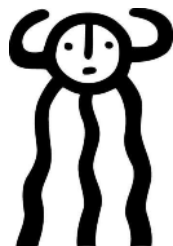
〒870-0835

大分市大字上野865番地

大分市美術館

広報普及担当班：担当（若林）

097(554)5800



大分市美術館で

ボランティア活動をしてみませんか？

美術館で ボランティア



大分市美術館ボランティアには「こもれ美」という名称がついています。

第1期生養成講座の受講者の中から名称を募集し、美術館が森の中に立地することから「木漏れ日のようにボランティアの想いが美術館を訪れる人々の心に降り注ぐ」ことを願ってつけられました。

現在、13期生までのみなさんが活動中です。

大分市美術館ボランティアって？

大分市美術館では、美術や社会貢献に関心のある方々にボランティアとして、様々な美術館活動に参加していただいています。

ボランティア活動をさらに発展・充実させるため、ボランティアの募集を毎年行っています。

Q：ボランティアに応募するのに、条件はありますか？

A：12月～1月に開催する入門講座（全6回）の受講が可能な方が対象になります。

Q：主な活動曜日、時間はどうなっていますか？

A：グループによって異なります。

【資料グループ】

毎週水曜日10:30～12:30
資料の量が多い時は午後、または
金曜日にも活動

【トークグループ】

毎週火曜日13:30～15:30
学校団体より観覧の申込みがあった日
毎月第2土曜日のコレクション展案内

【普及・運営グループ】

第2・4火曜日10:30～12:00
「第1月曜日は美術館で楽しもう！」の
第1月曜日10:00～15:00
美術館の各種講座の開催日

【ワークショップグループ】

毎週金曜日10:00～12:00
G・Wや夏休み、秋、冬の子ども講座
他の開催日

Q：ボランティアの活動には、謝礼や交通費がありますか？

A：支給はありません。

このような活動を行っています。

資料グループ

新聞、雑誌から美術関連記事を切りとり、項目ごとにファイルします。図書コーナー、チラシラックの整理も行います。



私が美術館ボランティアを始めて18年が経ちました。絵を見る事が好き、子供たちが独立して自由な時間ができ、何か自分にできる事はないか、とっていた時、市報でボランティア募集を知り応募しました。

新聞雑誌から美術記事の切り抜き、チラシの仕分け等々の作業をします。昼頃にはコーヒータイムです。活動の話や世間話をして和気あいあいと楽しく過ごしています。集めた資料は館員の皆様に利用され、いろいろな賞を受賞しています。これは資料グループの者にとっては、励みであり喜びです。

緑あふれる高台の美術館で身近に日々絵画に接する事ができることは幸福です。周囲のみなさんとの触れ合いがとても良い刺激になっています。

2期生(平成13～) H・N

普及・運営グループ

講座のアシスタントの他、ポスターエコバッグを作る自主企画「第1月曜日は美術館で楽しもう!」を担当しています。



駅から芝生広場をぬけ、坂道を登れば市立美術館。大きなソウと走る犬の彫刻がお出迎え。緑の中に溶け込んだ建物はユニークな遊び心いっぱい。でも、4年前まで私にはあまり縁のない場所でした。

ある日、ボランティア募集の市報を見て応募、6回の研修を受け、11期生となりました。今では普及、運営のメンバーとして不要になったポスターで来館者の方とエコバッグ作りをしています。

特別展オープニングの受付では、作家さんと間近に接する機会もあります。月に数回通うので所蔵品や特別展の様々な作品を見る機会も増えました。

この魅力にあふれた美術館を市民のみなさんに紹介するお手伝いを一緒にしませんか。

11期生(平成28～) I & J

トークグループ

学校団体の対応や、土曜日のコレクション展案内を担当しています。ご案内にむけての学習を積みます。



こんにちは。どこかでこのチラシを手に取られた皆さん、もう美術館でのボランティアに一步を踏み出していることでしょうか。私たち「こもれ美」は主に美術館と市民をつなぐ活動をしています。たとえばトークグループでは、子どもたちに作品を楽しんでもらうために、分かりやすい説明を加えながら展示室を案内したり、一般の来館者の方々にはコレクション展と一緒に回るツアーも実施しています。ボランティアにとって美術館は学ぶ場であり、人と出会う場であり、学んだことを活かせる場でもあります。

面白いと感じる心と好奇心があれば大丈夫。一緒に美術館を探求しましょう。「きっと自分に合った活動に出会える出会えることと思います。」

1期生(平成11～) H・T

ワークショップグループ

子ども講座で、指導のアシスタントをします。自主活動から企画を生み出し「新聞紙でつくるはりこの犬」などの講座も担当しています。



専業主婦だった私は、主人の定年退職をきっかけに「自分の視野を広げたいチャレンジしてみたい」という思いに駆られ、美術館ボランティア・ワークグループへの道を進みはじめました。

活動は定例会に季節の美術教室、夏の子ども講座の補助、自主企画の「てとてとて」等盛りだくさんです。準備には担当の先生や仲間との協力は必須ですが、時には意見がぶつかりあい、皆、頭を抱える時もあります。でも、受講者が笑顔で帰っていく姿を見ると、一同安堵の表情になり、思わずにっこり。苦勞が報われるひと時です。

ワークにはメンバーそれぞれの居場所がきちんとあり、包容力の様な空気感が感じられます。私にはとても居心地の良い場所で、この出会いに本当に感謝しています